

※年齢は令和6年4月1日

通し番号	活動地域	(ふりがな)氏名	年齢	エイジレス・ライフの概要
1	青森県 南津軽郡大鰐町	にがわら せつこ 二川原 節子	92	昭和63年に青森県食生活改善推進員資格を取得し、大鰐町食生活改善推進員会を発足し会長となる。乳幼児検診時の栄養士指導による離乳食作りや地場産品を使った手作りおやつを試食会等を実施するほか、小学生を対象としたおやこ食育教室、男性向け料理教室、小学校野球部への料理の差し入れ、健康フェスティバルでの栄養相談等、幅広いボランティア活動を精力的に行っている。 現在は名誉会員となり、92歳に至る現在も保健所や行政と連携をとりながら36年に渡り活動を続けている。同時に大鰐町からの声掛けにより、放課後児童クラブで年中行事補助業務を行っているほか、茶道を習った経験を活かし、地域の納涼祭などの年中行事でお茶席を設け提供する等、様々な社会活動に取り組み、地域に貢献し続けている。
2	岩手県 一関市	おいかわ せいき 及川 征記	85	観光バス乗務員当時のことや自身の子育ての体験談等を老人クラブや高齢者サロン等で講演することで、過去に培った自身の経験を伝え、時には子育て相談にも応じながら、地域住民の社会生活に自身の経験を活かしている。 また、自身の健康づくりとしてランニングや老人クラブの活動のほか、カラオケサークルを結成し、仲間との交流を図ることで、自分だけでなく地域の健康増進・体力向上・生きがいづくりに大きく貢献している。 さらに、防災訓練への積極的な参加やこどもの登校時の見守り活動を行い、防災訓練への積極的な呼びかけをするとともに、挨拶を交わしながら児童と高齢者の交流を図るなど、安心して暮らせる地域づくりに寄与し、防災・防犯の協力体制確立に努めている。
3	岩手県 奥州市	わたなべ くら子 渡辺 くら子	81	地域住民との繋がりを重視し、自らが経営する縫製工場に地域の女性たちを雇用し、住民たちとの交流を深めた。 また、町内会の理事や民生・児童委員を長年務め、老人クラブや婦人会でもリーダー的存在として活躍しており、サロンを主催するなど、地域に居住する高齢者の健康・仲間づくりの場を提供している。 さらに、ヘルパーの資格を取得し、通院介助を行ったり、地域福祉スタッフの活動を行ったりしており、福祉活動にも積極的に参加し地域福祉の向上に努めている。
4	秋田県 秋田市	さがわ あつし 佐川 篤	78	約400年の歴史を持ち秋田県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能「秋田万歳」の伝承者として、郵便局在職中から地域の行事等で芸を披露する等活動を展開。 二人一組で演じていた万歳を鼓(つづみ)の代わりに頬(ほほ)をたたくという一人万歳の独創的手法により、多くの観客から支持され地元の老人クラブや福祉施設等から多数の公演要請を受け実演している。 定年退職後参加したイベントで好評を博し口コミで評判が広がったことから、仲間とともに活動範囲を拡大し現在は秋田県全域で活躍している。 平成25年に、秋田生まれの芸達者なメンバーによる「あきた芸能つどいの会」を結成。事務局長として積極的に会を牽引し、施設や自治体等の各種イベントに活動の輪を広げ笑いを届けている。
5	山形県 最上郡鮭川村	たかはし しんいち 高橋 眞一	75	山形県指定無形民俗文化財である鮭川歌舞伎伝承のため、昭和46年に鮭川歌舞伎保存会が発足した当初から座員として活動している。本人の切磋琢磨により技量を深め、鮭川歌舞伎保存会の中核的な存在として、座員仲間のまとめ役を務めるほか、座員の資質と技能の向上に大きく貢献している。 平成25年に同保存会の座長に就任以降、物産交流をしているさいたま市や友好都市交流をしている東村山市への出張公演も実施し、鮭川村のPR活動の原動力として活躍している。平成29年度から鮭川村教育委員会の要請を受け、総合学習として、鮭川小学校5年生全員を対象に「鮭川歌舞伎」の演舞指導を行い、無形民俗文化財の伝承と後継者育成・青少年健全育成に大きく貢献している。
6	福島県 郡山市	かわかみ ともこ 川上 朝子	88	鳴神長寿会老人クラブ会長として会員の健康づくり活動、友愛活動、奉仕活動など各種事業の活性化に取り組み、平成16年からは大成小学校において昔遊びなどを通して児童との世代間交流を図っている。また、老人クラブに「子供見守り隊」を結成しリーダーとして隊員25名をまとめ、毎日下校時に4名ずつ日替わり当番制で活動し、地域の安全安心に貢献している。他に鳴神町内会総務副部長や地区社会福祉協議会のボランティア活動補助員など各種団体の役割を担い、地域からの信頼も厚い。
7	福島県 南会津郡南会津町	さわだ けい子 澤田 けい子	75	学芸員の資格を活かし、奥会津博物館に勤務するなかで、「田島藍染保存会」を設立した。伝統ある藍染技法を残すべく、現在も藍染体験を頻繁に開催され、地元の小学生から地域住民まで多くの方に、絞染や型染の技法を伝えている。地元の山開きイベントでも藍染ハンカチを記念品としてプレゼントするなど、ますます精力的に活躍の場を広げている。また、在職中に博物館事業として「奥会津昔ばなしの会」を設立され、地元で民話を語り継いでいく人材育成に貢献した。現在も「奥会津昔ばなしの会」会長を務めるほか、「全会津の民話まつり」理事となり、民話を語り継ぐだけでなく、後継者の育成と語り部の研鑽の場づくりに励んでいる。この他にも、老人クラブの会員として、グラウンドゴルフ大会や輪投げ競技会に参加し、健康づくりに励んでいる。

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
8	福島県 双葉郡浪江町	すずき きみこ 鈴木 喜美子	86	若い時からボランティア活動に関心があり、30年ほど前に福祉レクリエーションとの出会いをきっかけに、レクリエーション指導者資格を取得する。その後、福祉ボランティア活動だけにとどまらず、レクリエーションダンス等をとおして、20年近く、地域の健康づくりを推進してきた。 平成23年3月11日の東日本大震災により、避難を余儀なくされたものの、避難先においても福祉レクリエーションボランティアの活動を継続し、その活動は30年を超える。避難区域が解除となって早期に浪江町に戻り、帰還者の地域サロンなどで活動してきたが、その活動の中、レクリエーション指導者としての知識と技術を十二分に活かしながら、認知症予防のハンドゲーム、介護予防体操等の活動をとおして、高齢期における心の元気づくりを実践している。
9	茨城県 取手市	ほし まさひろ 星 正博	80	取手市に転居後、地域活動を通じて「この街に貢献したい」という思いが芽生え、取手市防犯連絡員協議会の活動を開始し、これまで55年もの間、最前線で活動を継続している。防犯パトロール、街頭キャンペーン等の各種活動を通じ、そのリーダーシップを認められ、2市1町(取手市、守谷市、利根町)からなる取手地区連合防犯連絡員協議会会長に就任したほか、取手地区セーフティ・マイ・タウンチームの初代会長として立ち上げに深く貢献するなど、様々な防犯活動や団体の運営等に関わってきた。 現在でも、各団体の顧問、評議員等を務める傍ら、「死ぬまでやりきる」という気持ちのもと、先頭に立って各種防犯活動を推進しており、各種犯罪の減少や地域の防犯意識の向上に大いに貢献しているものである。
10	埼玉県 越谷市	くまがい はるえ 熊谷 春枝	82	過去に培った経験を活かし、地元の障害者の余暇支援の活動に取り組み28年が経過した。利用者との信頼関係が厚く、様々な障害者の特性に合わせ、体操や折り紙、工作等のアイデアを出し、余暇の支援を行っている。 その他、専門学校の講師も勤めている中で、障害者スポーツや高齢者・認知症の方々の支援、地区の婦人防火クラブ、日本赤十字に所属し、ボランティア活動を行っている。また、新たな学びとして聴覚障害者とのコミュニケーションを図るため、手話講座を受講し、手話を学びながら支援の幅を広げていきたいと考えている。いつまでも学び続け、常にチャレンジする姿勢は、エイジレス・ライフの実践者にふさわしいと思われる。
11	埼玉県 秩父郡小鹿野町	あさか しげる 浅香 繁	73	限界集落の中での民生委員活動を通して、地域が抱える様々な問題を解決していくためにはどうしたらよいか考え、平成28年6月に「上郷健交サロン」を立ち上げ、この中でこじか筋力体操やベタンクなどの運動で体力維持向上と、講演会や勉強会で健康意識や知識の向上を図り、地域住民間の交流を深め、助け合い支え合える地域づくりを目指している。住民が結束し様々な課題に向き合える体制を築き上げ、地域の活性化に尽力している。また、年々荒廃していく地域を「花咲く美しいふる里を未来に残す」ため住民に働きかけ、令和3年5月から約2,000本の花木を植樹し管理していく「上郷花の会」も設立して活動している。
12	千葉県 山武市	ふじた のぶひさ 藤田 進久	77	平成22年5月に、山武市シルバー人材センターに入会し、センター運営の根源である受託業務の拡大に向けて精力的に取り組んできている。センター内の奉仕活動も積極的に行い、つつ、町村合併に伴うセンター統合等の諸問題に対処すべく、平成30年6月に会長に就任した。新分野での受託業務獲得に動く中で、とりわけ、市の広報紙配布に関しては、約半年間という限られた準備期間で、現場を熟知した本人が先頭に立って、人員確保や配布ルート作成等の業務構築に取り組むことで、業務受託を達成した。これがセンター魅力化にも寄与し、新たな会員層の獲得に繋がっている。 この他、定年制のないシルバー人材センターにおいて「健康になる就労」の実現に取り組む等、人との交流を第一に、生涯現役のあり方を体現するリーダーシップを発揮している。
13	東京都 江戸川区	やまざき かずお 山崎 一男	86	江戸時代から続く農家として、江戸川区名産の小松菜を栽培し、15年間にわたり農業委員を務め、江戸川区の農業の推進に寄与した。 現在も日々畑での農作業を続けながら、後継者である孫夫婦へ指導・助言を行い、精力的に後進の育成に努め、小松菜の品質向上、伝統野菜の継承に力を注いでいる。 農業を営む傍ら、消防団をはじめ、こども会や町会、民生委員などの長年の地域活動が高く評価され、くすのきクラブ(老人クラブ)の会長、江戸川区くすのきクラブ連合会の副会長を歴任し、令和6年1月からは、連合会会長に就任し現在に至る。 温厚な人柄と献身的な姿勢は、多くの熟年者から慕われ、笑顔の絶えないクラブ活動を続けている。現在は、江戸川区の代表として生きがいつくりの輪を広げるべく、連合会の更なる発展に向けて尽力している。
14	神奈川県 小田原市	ほだ よしお 穂田 芳雄	79	令和元年よりNPO法人おだわらイノシカネットを設立し、理事長として地域農林地におけるイノシシやニホンジカなどの獣害撲滅に向け、被害に悩む農林地での捕獲請負や地域の自然保護活動などにも携わっている。また、担い手不足とされる獣害駆除の技術を、後世へ継承することを目的とした、人材育成も積極的に行っている。具体的には、令和2年より「小田原くくり畷塾」を毎年開催し、県内外、世代を問わず、これまで約100人を指導しており、指導を仰ぐ参加者の育成にも寄与している。また、その活動から幅広い世代間のネットワークやコミュニティの醸成、関係人口の増加など、様々な地域社会問題の解決に資するものとして貢献している。

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
15	新潟県 佐渡市	ささき のぶひこ 佐々木 伸彦	83	<p>中学3年生のとき短歌に出会い、現在に至るまで歌作を続け、この間、地元の短歌の会に入会し、郵便局の勤めや農作業の傍ら同会発行の歌誌の編集人や事務局を務めたほか、地元紙の文芸欄の短歌選者やケーブルテレビの文芸番組の短歌解説者として協力を惜しまず取り組むなど、歌づくり文化の発展と短歌愛好者の増加・技術向上に貢献している。</p> <p>一方、郵便局を退職後、老人クラブ会員としてボランティア活動等に参加し、その後役員として秀でた行動力と厚い信望をもって共助・互助活動としての地域住民による見守隊を立ち上げ、老人世帯等への生活支援態勢をスタートさせた。また、会議等で老人クラブの活動意義と使命を説くなど、その啓発・浸透にも務めた。現在も会員として定例会に積極的に参加し、老人クラブ活動の活発化に寄与している。</p>
16	富山県 射水市	ふじた みのる 藤田 寛	89	<p>地域の凧作りを継承する「越中だいもん凧の会」を立ち上げ、小学校や地域での凧作りを指導し、普及させることで、地元大門を「凧の町」として広く認知させてきた。また、地域に根付く行事として「越中だいもん凧祭り」の開催に尽力し、多くの人々に凧あげの楽しさを伝えてきた。さらに、大門町消防団大門分団分団長に就任した時には、人と人との間を取り持ち、幾多の交渉役を務めて地元の人々の絆を深める役割を果たし、地域の安全活動に貢献した。近年では、射水市の地域提案型市民協働事業の一環として、地元庄川の鮎を使った郷土伝統料理の講習会講師を務め、レシピ集作りにも大いに貢献するなど、大門地区の食文化を守る活動にも取り組むほか、市の生涯学習活動事業においても子どもたちに野菜作りを指導している。</p>
17	石川県 羽咋市	でむら りょういち 出村 亮一	76	<p>平成10年から保護司を務め、犯罪に手を染めた人や非行に走った人の更生と社会復帰に尽力しており、令和5年秋の褒章において「藍綬褒章」を受章した。</p> <p>また、平成30年から地元町会5地区の連合老人会会長を務めるとともに、令和2年からは羽咋市老人クラブ44団体の連合会長として各種行事を企画・開催し、会員の福利厚生に努めている。</p> <p>高齢者サロン「白山よりあい処・とくよもさ」を開設し、地元の高齢者の拠り所として、コミュニケーション作りにも貢献している。</p> <p>さらに、高齢者の野球チームを組成して現在は30名程のメンバーで活動し、ピッチャーを務める。石川県還暦軟式野球連盟主催の大会(年間12試合程度)に参加するとともに、毎年、地元学童野球チームとの交流試合を開催し、孫世代との交流も図っている。</p>
18	福井県 三方郡美浜町	はら ちづえ 原 智津栄	87	<p>平成17年から美浜町老人クラブ連合会の女性部長や副会長を歴任し、平成24年からは同会初の女性会長に就任、現在も顧問として現役で活動に参加している。そのほか、平成14年に読書ボランティア「めめたんごの会」を結成し、22年にわたり、町内保育園や小学校で定期的に読み聞かせを実施している。平成17年には「大正琴教室」を開設し、自らが講師となり、月4回練習を行うほか、町内の高齢者施設等への慰問も行っている。また、美浜町老人クラブ連合会の事務局職員として、独自の「エイジレス・ライフ実践事例」を立案し、平成5年から現在まで、町老人クラブ大会において、会員の表彰や紹介コーナーを設けるなど、大会の目玉企画として継続している。</p>
19	山梨県 笛吹市	ぬまた さぶろう 沼田 三郎	88	<p>鉄筋会社を経営しており、一線を退いた現在も会長という立場で関わっている。平成13年よりシニアクラブ会員として活躍し、令和4年度より町シニアクラブ会長に就任、町の歴史ある公園の清掃活動や体力維持の体操教室、こども向けの福祉教育への協力・支援など、参加者のニーズや状況に沿った多様な活動を実施してきた。</p> <p>「困っている人をそのままにしておけない」「今後地域を担っていく子どもたちにたくさんの経験をさせてあげたい」との考えのもと、町のシニアクラブ会長としての活動にとどまらず、長年にわたり地域のボランティア活動や地域のこどもたちとの交流を行い、仕事でのスキルや農業経験の知識を生かし、地域に貢献してきた。</p> <p>自身の活動に生きがいを持ち、88歳を迎えた現在も、生き生きとした生活を送っている。</p>
20	山梨県 西八代郡市川三郷町	すわ はつえ 諏訪 初枝	100	<p>長年にわたり編み物を続け、地域の人に寄付したり、被災地(岩手県大槌町など)の復興支援の為に寄付を行ってきた。令和5年8月には本人が大槌町に行き、当時靴下を配布したスタッフと再会、寄付した靴下が総数約1,500足になったことなど、日々の活動が新聞でも取り上げられた。</p> <p>こうした活動のほか、帽子やベスト、カーディガンなどのニット製品を制作し、老人クラブの文化祭に展示したり、町の文化展に展示をしたりしている。</p> <p>100歳という高齢になったが、現在も毎日5時間ほど作業に取り組んでいて、「喜んでくれる人がいると励みになる」と語る。「元気なうちは編み続ける」と、意欲的に活動に取り組む姿勢は、年齢にとらわれない前向きな生き方を体現するものである。</p>
21	山梨県 南都留郡忍野村	わたなべ えつろう 渡邊 悦郎	99	<p>昭和26年に歯科医師免許を取得し都内の歯科医院で勤務した後、当時歯科医師のいなかった地元忍野村に帰郷して、昭和28年に渡辺歯科医院を開業。以来70年以上の長きにわたり、開業歯科医師として地域住民の歯科診療等に携わってきた。昭和35年からは、地元の小中学校の学校歯科医としても活躍し、児童・生徒への口腔・歯を通しての健康教育へ尽力するとともに、学校歯科医を通じて地域で口腔保健活動などを行ってきた。</p> <p>現在も毎週月曜日から金曜日までの午前診療を行っており、最高齢開業歯科医師としてギネス世界記録に認定された。会員最高齢かつ現役の開業歯科医師として活躍する姿が、人生100年時代における会員、シニア世代のお手本となっている。</p>

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
22	静岡県 焼津市	ますだ かつゆき 増田 勝幸	79	地元小学校の安全協力員に登録し、平成24年から12年にわたり、こどもの交通安全のため、登下校時に1日3か所通学路にて見守り及び交通安全指導を行っている。 ほかにも、さわやかクラブやいづづ連合会(焼津市老人クラブ連合会)会計、同連合会豊田支部副支部長、第三喜楽会(老人クラブ)副会長及び会計、静岡県綱引連盟事務局、焼津市綱引連盟事務局、焼津市バレーボール協会事務局を務めるなど、様々な地域貢献活動に取り組んでいる。
23	静岡県 御殿場市	まつなが ひでこ 松永 英子	80	退職後、シニアクラブ萩原八千代会の会員となり平成30年度から4年間女性部長を歴任した。男性中心のシニアクラブの組織の中で、女性部長として、シニアクラブの運営に活躍していた。令和4年2月に、次期会長が決まらないことから、八千代会の休会が発表された際に、「そんなことはさせない」と奮起し、多くの会員を集め話し合いを重ね、自ら会長の重責を負い、熱意を持ってクラブ再開を果たした。静岡県老人クラブ連合会よりクラブ再開の尽力にあたり表彰状も授与された。その後、令和4、5年度の八千代会の会長としての活躍は目覚ましく、新しいシニアクラブ活動事業を企画し、文化事業、体育事業、社会福祉事業、趣味娯楽事業には、多くの会員が参加するようになり、会員の参加率は格段に増え、とても活気のあるクラブへと変革させた。
24	愛知県 稲沢市	すずき みさ子 鈴木 みさ子	83	還暦を過ぎた頃から愛知県尾張北部のパソコンクラブ創設に参加するほか、稲沢市市民活動支援センター設立当時の登録団体・ネット木曜会にパソコン指導者として加わり、稲沢市内で地元の高齢者に広くパソコンソフト一般の使い方を指導してきた。特にワードを用いた絵画指導に努め、令和3年に稲沢市高齢者趣味の作品展でパソコン画奨励賞を受賞される等長年にわたり活躍している。近年では、高齢者を対象にパソコンを使って絵画を描く仲間を集って、作品の意見交換会を開催する等、高齢者の脳の活性化と生き甲斐作りにも貢献している。また、年1回の作品発表会として、稲沢市福祉まつりにて作品を展示即売し、売上金全額を稲沢市社会福祉協議会に寄付する等、社会貢献活動にも努めている。
25	愛知県 新城市	つつい ひろひと 筒井 博仁	75	社会貢献として各種活動に取り組み、平成6年4月より新城警察署からの委嘱を受けて新城少年補導委員を務めている。少年の補導活動や健全な育成を阻害する有害環境浄化の活動、少年保護対策などの活動に取り組んできた。平成20年4月から会長を務め、新城市の桜まつりほか各イベントで警察署と合同で防犯チラシ配布や個別指導等実施し、事故犯罪の未然防止に努めている。また補導委員の研修旅行を企画し、昨年11月松本刑務所内の旭町中学校桐分校を見学して教育指導実態を把握する中で委員全体のレベルアップにも努力している。平成28年から毎日小学校の通学時の見守り立会声掛け活動を始め、児童の安心安全に貢献し、平成30年からは「マイロード布里」のリーダーとなり、12名の仲間と地区内の県道の路肩草刈りと整備作業に取り組んでいる。
26	愛知県 大府市	とだ いさむ 戸田 勇	86	定年退職前に地域の自治会会長を受けたことが地域活動に参加するきっかけとなった。定年退職後に銀行員として培ってきた行動力と温厚な人柄から、地域より自治会区長になって欲しいと声がかかり、自治会区長のほか、地区老人クラブ会長、市老人クラブ連合会副会長を務め、地域の防犯・防災活動、児童の健全育成及び高齢者の福祉の発展に尽力した。また、趣味で始めた絵手紙を通して、約20年間にわたり小学生に絵手紙の魅力や楽しさを伝えながら、世代間交流にも積極的に取り組み、地域社会に貢献している。
27	三重県 亀山市	いとう ちえ 伊藤 千恵	75	三重県津市・亀山市を中心に、公民館活動などで、地域住民を対象とした絵手紙教室で講師を務めている。また、自らが主宰する絵手紙サークル「関宿絵手紙SEN」では、会員に絵手紙の作成を指導しているほか、会員の作品発表の機会として年1回の絵手紙展を開催するなど、絵手紙文化の振興と地域の活性化に貢献している。 また、地元小学校の学習の一環として、絵手紙作成の講師を務め、子どもたちへの多様な体験活動の提供に寄与してきた。 さらに、東海道53次の宿場町である「関宿」及び「坂下宿」に立ち並ぶ町屋の木製建具に取り付けた焼き杉の額に、春・秋の年2回、併せて500点の絵手紙を作成・展示することで、町並保存・地域振興・観光振興に寄与している。
28	三重県 伊賀市	かさくら みつぎ 重倉 貢	76	農林水産省が制定する「つなぐ棚田遺産(ポスト・日本の棚田百選)」の認定に当たり、棚田の保全・地域の環境、農村風景の維持・農村後継者の育成等に尽力されたとして、令和4年3月25日、農林水産大臣から申請者が代表を務める「西山ふるさと保全会」が認定書を授与された。これは、地域の住民が一体となり、景観の維持・保全に取り組んできた結果が評価されたものであり、この活動は推薦者のリーダーシップがあったからこそ継続できたものである。高齢者をはじめ、地域住民の一人ひとりがこの活動に参画し、地域との接点を生み出し、地域を生き生きと発展させている。
29	三重県 員弁郡東員町	おおた ふみひろ 太田 文宏	81	郵便局退職後の運送業で培われた幅広い人脈と誠実な人柄から、数多くの地域ボランティア活動に勧誘され、精力的に活動を行い、81歳になった今でも、地域社会のリーダー的役割を發揮している。また、郵便局の現役時代から馬を飼う、庭木を育てるといった趣味を持ち、自由に生き生きとした生活を送っている。 地域の農道、水路の草刈、水門ゲート機能点検、同ゲートペンキ塗り、水路補修、農道法面等に尽力している。 また、月2～5回程度、徘徊老人の捜索、火事のアフターフォロー、郵便物等が溜まっている空家と思われる家の在宅調査等の生活環境改善に貢献している。災害時も住民同士で支えあうまちづくりを目指し、月1回、町内の危険箇所を点検して町へ報告し、県内外のボランティア活動に参加する等のまちづくり活動をしている。

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
30	滋賀県 蒲生郡日野町	ほりえ せいいちろう 堀江 清一郎	73	退職後、地域美化活動を続けるとともに、マジックや腹話術の技術を磨いていたところ各所から地域活動の依頼を受けるようになった。社会福祉協議会の役員としては、独居老人への訪問活動等を中心に活動した結果、平成26年に社会福祉協議会会長賞を受賞。現在は日赤奉仕団の団長も努め各種ボランティア活動のリーダー的存在として活躍している。そういった活動が契機となり、10年前に薬物乱用防止認定講師の資格を取得し、地元の各小学校に腹話術を使いながら授業として公演活動を行っている。また、マジックについても地域イベントや老人会、女性会やこども会といった各所から依頼が殺到し、簡単なマジック指導も行っている。このように積極的かつ継続的な美化活動や奉仕活動は、地域から高い評価を得るとともに大きな社会貢献をしていると言える。
31	大阪府 大阪市	たなか とおる 田中 徹	77	若い頃、中国に興味を持ち中国語を習得。教員生活を通じ、学童保育や障害児(視覚障害ろうあ者)と接触して点字及び手話を修得。これらのことが、学校だよりの点字編集や手話通訳での障害者のサポートに繋がった。さらに、帰国子女(特に中国人家族)の通訳として学校生活にスムーズに溶け込むよう支援を続けている。定年退職後も活動を継続するとともに、生涯学習の場である認定NPO法人大阪府高齢者大学校でも学習仲間に社会参加活動のきっかけ作りの役割を担っている。
32	大阪府 八尾市	おおひがし きよたか 大東 清孝	73	教員時代に同和地区問題・ハンセン病問題に取り組んでいた経験から、定年退職後に先輩及び大阪府教育委員会の方から声を掛けられ「人権擁護委員」に就任した。1期3年の任期で現在4期目に突入している。①人権相談:面接相談・電話相談・LINE相談②人権教室:小学校低学年・中学年を対象としたいじめ対策(29回/年)、③人権作文コンテスト:中学生を対象とした本事業に委員として取り組む④人権の花運動:こどもたちが協力して花を育てることで命の大切さ・相手への思いやりの心を育む活動など、継続して人権啓発活動に努めている。
33	大阪府 東大阪市	なるばやし のりこ 成林 能理子	72	PTAでママさんソフトボール・バレーボールで活動後、東大阪市バレーボール協会理事として指導し19年目となる。自治会活動にも携わり、住みやすいまちづくり活動を推進している。また、退職後に認知症サポート研修を受け、お話ボランティア・脳トレボランティアを高年齢者対象に実施中である。愛ガード活動としては、小学校登校時横断歩道での見守り活動や地域周辺のパトロール活動も継続している。さらに、東大阪市地域包括支援センター運営協議会審議委員として運営に関与し、地域社会に貢献している。上記活動に加え、認定NPO法人大阪府高齢者大学校ではクラス運営を担うクラス・ディレクターを引き受けている。
34	大阪府 東大阪市	おの えいじ 小野 栄治	78	居住地の東大阪でメンバー8人で「地域資源わくわくプロジェクト」を立ち上げ、地域の歴史・史跡や食文化・伝承文芸等をテーマに“体験型ファミリーウォーキング”イベントの企画運営をしている。老若男女3世代を対象に地域活性化を目指して継続し、11年となる。3年前からは、居住地に加え近隣地域に範囲を拡大して活動しており、企画会議は月に2回、イベントは土曜日・日曜日に開催している。 また、地域活動に加えて認定NPO法人大阪府高齢者大学校でもボランティアスタッフとして13年間にわたり運営に参画している。
35	大阪府 交野市	たなか あきこ 田中 暁子	86	大阪府シルバーアドバイザー養成講座となる府民カレッジを受講し、大阪府が地域活動を実践するものとして認定するシルバーアドバイザーとして、平成12年から手作り玩具の交流活動とふれあい訪問のボランティア活動を行っている。また、大阪府高齢者大学校の国際交流専攻コース出身者として、交野市で外国人への「日本語支援活動」をしたいとの思いから、NPO法人交野市国際交流協会に入会し、仲間と一緒に「日本語プラザ教室」を立ち上げ、語学研修活動をしている。 交野市でシルバーアドバイザーをとりまとめる、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会交野市の代表理事として、おもちゃ作りのボランティアやおもしろ算数教室のサポーターとしても地域社会に貢献している。
36	兵庫県 丹波篠山市	もりもと ひろゆき 森本 宏之	81	退職後、地元で各種ボランティア活動に取り組むほか、篠山まちなみ保存会理事や民生委員、法人後見活動支援員など地域活動にも携わりながら、観光ボランティアガイド(ディスカバーささやまグループ)の一員として12年間という長きにわたり活躍され、丹波篠山の魅力の発信と観光産業に貢献されている。また、地元篠山小学校で毎年行われている“児童による子供ガイド”の指導・支援にも携わっており、世代間交流活動にも積極的に取り組み、地域社会に貢献している。
37	和歌山県 岩出市	いちの ひろし 市野 弘	76	個人や団体で活動しているボランティアをつなげる「いわで地域ボランティアネットワーク」の代表を務めており、会員同士協力しながら、様々な活動をしている。「ふれあい処ふらり赤垣内(相談室併設)」として自宅の一室を開放し、地域の高齢者の方々の様々な相談に応じるとともに、自宅前のガレージに自分の蔵書や寄付していただいた本を置いた、こどもも大人も集う「ふらり図書館」も開設している。また、地域の元気な高齢者で「健康生きがいづくり一座」を結成し、歌や踊り、フラダンス、南京玉すだれ、マジックなど、メンバーの特技を生かした涙あり笑いありの公演を、高齢者施設や障害者施設などで行っている。長距離を歩くのが大変な高齢者の方々が散歩や買い物をあきらめないよう、街中に休憩スポットを作る取組も行っている。

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
38	和歌山県 岩出市	しまもと ただお 島本 忠生	81	日本絵手紙協会公認講師の資格を取得後、平成20年から毎月2回、カルチャー教室や公民館の絵手紙クラブで絵手紙の講師をはじめ、同24年からは毎月2～3回、高齢者等を対象にカルチャー教室、公民館活動及び高齢者施設において絵手紙教室を開催している。更には、岩出市内の6つの小学校からも講師依頼があり、放課後に希望する児童(1校約50名)を対象に、年1回開催している。また、地域住民、とりわけ高齢者の交通手段となっている和歌山電鉄株式会社貴志川線が赤字で困っていたことから、同社に集客の一環として車内に絵手紙の展示を提案し実施することとなった。以上のとおり、同人は長年にわたり絵手紙を通じて、文化の振興のみならず児童の豊かな心を育み、高齢者の生きがいを引き出し、更には地方創生にも多大なる貢献をしている。
39	島根県 松江市	さとう けんじ 佐藤 健次	86	戦時中、ぜいたく品というレッテルを貼られ、飼育数が激減していた地金魚「いづもナンキン」を、戦後、本家から受け継ぎ飼育技術を継承した。以降、自宅の池で約千匹のいづもナンキンを飼育する飼育家であるとともに、郵便局勤務の20代から現在まで、年1回秋に松江市で開催される「いづもナンキン品評会」の審査委員長を務めている。また、「いづもナンキン振興会」の名誉会長として、いづもナンキンの質の向上を図るとともに、いづもナンキンを絶やしたくないとの思いから、若い飼育家に惜しみなく飼育技術を伝承するなど、安定した飼育者数の確保にも貢献している。
40	広島県 尾道市	さとう けいし 佐藤 圭史	85	幼少の頃より絵画に大変な関心と実力を有し、平成19年から尾道美術協会会長として活動を開始し、平成24年に自身の作品集「太鼓の響き」を発売した。また、同年に発足した「原田歴史文化同好会」の会長に令和2年に就任すると、本格的に郷土の歴史や文化、伝統、偉人などに関心を持ち、地域の仲間と「ふるさと」を大事にする活動に専心する。令和5年、自身が所蔵していた原画(全42点)を福山市人権平和資料館に寄贈し、現在も、原田歴史文化同好会会長として、会報「原田文化」を発行、和太鼓教室、「原田の歴史探訪」開催等、自身の市教育行政や専門分野の経験を存分に生かし、多種多様な活動を続けている。
41	愛媛県 今治市	うの すみえ 宇野 須美恵	87	退職後から、人権擁護委員や民生・児童委員に従事し、平成24年には、単位老人クラブのなかった小泉地区に老人クラブを設立し、歌や体操を中心としたサロンの開催や地区小学校との交流事業を実施し、地域高齢者の中心となって活動している。また、別団体として、平成11年に泰栄すずらん会を設立し、無縁墓地や四国遍路周辺などの清掃や老人ホームの花壇などの手入れを行うなど、地域の環境美化活動のけん引役である。 また、個人では、生け花の今治華友会副会長や今治市文化協会常任理事などを務めており、文化祭や地域小学校入学式の大瓶花などへの協力や今治市観光ボランティアガイド会員として今治城のツアーガイド、地域小学校の見守り隊員活動をするなど、様々な地域貢献活動を行っている。
42	高知県 高岡郡佐川町	にしむら けいこ 西村 啓子	75	平成18年に定年退職し、縁もゆかりもない佐川町に平成20年に移住。人とのつながりを形成するために百歳体操や佐川町社会福祉協議会が主催する講座などに参加するようになった。このことをきっかけとして、「お元気コール」という電話を通じた独居高齢者への支援を開始。その後、高齢者の生きがい・健康づくりのために講座の企画・立案・運営を行う「セカンドライフ夢追い塾」の運営委員、佐川町健康福祉課が主で運営しているいきいき百歳体操及び定期健康診断在宅のスタッフ、佐川町にある牧野公園の環境整備活動を行う「牧野公園花もりC-LOVE」のメンバーとして活躍している。多数の団体で日々ボランティア活動に奮闘しており、地域にも貢献している。
43	福岡県 柳川市	やまだ りょうじ 山田 良治	76	平成26年3月に管内タクシー会社と柳川警察署が締結を結んだ「地域を見守るサポートタクシー」制度では、タクシー部会の代表として運用開始から現在まで積極的に携わっている。細部にまで通行できる特性を生かして、地域に密着した見守り活動を心掛けていて、公共交通機関が少ない地域で高齢者の利用が多いことから、乗用時に目につくようヘッドレスにニセ電話詐欺被害のチラシを掲示するなどの工夫もしている。特殊詐欺、ニセ電話詐欺の被害が増加するなか、柳川警察署で、親族や警察官等を装った事前の確認電話であるアポ電と思われる事案が発生した場合は、ニセ電話詐欺の手口や被害防止に関するチラシを掲示したり、客に対する注意喚起を行う活動を継続している。
44	福岡県 糟屋郡篠栗町	まつお ひさこ 松尾 久子	79	平成15年郵便局を退職後、自らの介護経験を元にヘルパー2級を取得し、障害者施設にて補助ボランティアを開始する。平成17年から篠栗町の「いきいきサロン」の福祉協力員として活動。また平成18年からは、高齢者の介護予防体操である「ピンシャン体操」の福岡県指導者となり、公民館にて月2回約45名に指導を行っている。平成27年からは「すずめの学校」を自宅にて開催。昼食、おやつを提供及び脳トレ、筋トレ、カラオケなどを行っている。平成28年から「こども食堂」、令和5年から「安心安全子どもの居場所づくり」のお手伝いを行うなど幅広く活動し、地域社会にも多大な貢献をしている。
45	熊本県 熊本市	もちぎき まなぶ 餅崎 学	75	平成元年4月に自治会長に就任以来、自治会や防犯協会の活動をとおして地域の安全確保や少年の健全育成のために防犯パトロールなど様々な活動に取り組んでいる。 令和5年3月に後進の育成のため熊本東地区防犯協会副会長等の要職を辞した後も、会の運営や後進の指導にあたるなど同協会の要として活動を続けている。 また、地域、学校、PTAや警察等関係機関と積極的に交流し、各種防犯活動や防災訓練などのイベント等を企画。常に地域住民や関係機関と共に地域一体の活動を実現し周囲の信頼を構築。地域社会のリーダーとして現在も地域のために活動中である。

通し 番号	活動地域	(ふりがな) 氏 名	年 齢	エイジレス・ライフの概要
46	大分県 竹田市	あそん ひさみ 阿孫 久見	88	<p>長年、郷土の植物に関わる調査研究を行うとともに、希少植物の保護活動に従事。自身が講師を務める年8回の自然観察会は27年を迎え、ここ数年は市内だけでなく県外からも植物愛好者が参加し会員数も増加している。</p> <p>また、市内の小学校へ出向き、身近にある植物に触れながら、森林の大切さや自然と人間との関わり方を伝える森林教室を開催。</p> <p>さらに、郷土植物に関する著書を発刊したり、市の広報誌の「郷土植物特集コーナー」の掲載を35年間続けており、郷土植物の生態を写真と文章で紹介し、市民にとっては親しみ深いものとなっている。</p> <p>令和5年には、自然保護・環境保全の普及啓発活動に多年にわたって尽力したとして、環境省や県知事表彰を受けており、高齢になっても今なお地域における自然保護活動者として活躍している。</p>
47	宮崎県 都城市	ひらやま かずこ 平山 和子	82	<p>県職員当時から地域の様々な活動に参加しており、定年後平成13年4月から現在まで都城市スポーツ協会をはじめ役員兼指導者として多くの役職を務めている。また、宮崎県レディーステニス大会ではダブルスで数回の優勝、全国健康福祉祭では、ペタンクの部で宮崎県代表として出場し優秀な成績を収めるなど、選手としても現役で活躍している。</p> <p>地域活動では、小学校での奉仕活動や交通安全の啓発活動、スポーツ振興等の企画立案、世代間交流普及活動に尽力している。地域行事にも積極的に関わっており、培った知識と技術を生かして、地域活動や青少年育成に多大な貢献をしている。</p>
48	宮崎県 延岡市	しゅどう くにこ 首藤 邦子	72	<p>日本レクリエーション協会公認指導者として、世代を超えた市民・近隣市町へ、レクリエーションやニュースポーツの普及活動を行っている。</p> <p>また、延岡市健康教室推進協議会会長を務めており、住民を対象に多くの地域で健康教室を実施し、地域住民の健康づくりに貢献している。</p> <p>さらに、学校や各種施設で郷土芸能「ばんば踊り」を指導しており、ギネス記録「最多人数で踊る盆踊り」(2,748人、平成29年7月22日当時)の達成に寄与した。</p>
49	宮崎県 小林市	なかむら ゆういち 中村 祐一	72	<p>10年間の区長(自治会長)や公民館長としての自治会活動や地域づくり活動の経験を生かし、地域の高齢者のためにサロン団体やボランティア団体の設立に寄与し、高齢者が「気軽に」「無理なく」「楽しく」参加できる様々な支援活動を行っている。</p> <p>近年はこれらの活動内容が認められ、県内の多くの社会福祉団体から講演依頼が増加しており、特技であるアルトサックスの演奏を絡めた講演が人気を博し、サロン活動やボランティア活動の普及に貢献している。</p> <p>また、活動をSNSで発信するなど時代に即した柔軟な活動は、地域の新しいつながりづくりにも貢献している。</p>

令和6年度社会参加活動事例(合計29事例)

参考資料2

通し番号	活動地域	(ふりがな) グループ等の名称	活動内容
1	青森県 青森市	あぶらかわえきおうえんじっこういんかい 油川駅応援実行委員会	令和5年3月、リニューアルした油川駅の終日無人化が決定。その際、トイレも使用できなくなると聞き、地域の学生や住民が困ることが予想されたため、JR東日本と何度も話し合い、管理を住民で行うことでトイレの廃止を免れる。以降、掃除用洗剤やトイレトーパー等の備品は地域住民や地域にある青森外ヶ浜ライオンズクラブより寄付を受け、始発の6時頃に合わせてトイレや駅構内の掃除を実施している。さらに、地域の養護学校や高校へボランティアを募り、現在週1~2回生徒達が掃除を実施するようになった。また、美化活動として、駅構内には生け花を置き、ホームの花壇では、地域のクリニックから寄贈していただいた草花を育てている。このような活動を大雪等の天候や土日関係なく毎朝続けており、あずましく暮らせる町づくりに貢献している。
2	山形県 尾花沢市	にしはらちくしんぼくかい 西原地区親睦会	農地の荒廃による鳥獣被害や少子高齢化に伴う人口減少等の課題解決に向け、西原地区親睦会のメンバーは「かかし」の制作を行い、それをきっかけとしたお茶のみ会や地域の見守り等の防犯活動、健康教室、ふるさと学習会、市内のこどもたちとの交流等、多岐にわたる活動を行っている。メンバーの活動はマスメディア等にも取り上げられ、現在西原地区には100体以上のユニークなかかしが設置されており、県内外からも見学者が訪れている。「自分たちのことは自分で」を理念に、各々の経験と知恵を出し合いながら地域の活性化に貢献している。
3	福島県 郡山市	こくさいこうりゅうのかい・かるみあ 国際交流の会・かるみあ	平成7年に団体を設立し、長年にわたり国際文化交流普及活動を展開してきた。週1回開催される日本語学習ボランティアには毎回多くの外国人会員とボランティア会員が参加し、日本語を学ぶだけでなく、生活上の困りごとの相談にのり、場合によっては行政手続きに同行し伴走型支援を実施しており、在住外国人の心の拠り所役割を担っている。地域の国際理解を広げ、在住外国人の受け皿となり、日本への理解促進に貢献している。
4	茨城県 日立市	ほうじん ネット NPO法人 コミュニティNETひたち	平成14年4月に茨城県で初めてICT(パソコン教室等)による社会貢献を事業の目的としたNPO法人として発足し、21年となる。会員140人の平均年齢は74歳。会員の経験や知識を生かし、ICTで地域に貢献する活動として、パソコン教室や市と連携してスマホ等の操作に困っている高齢者を対象にマンツーマンの相談会を開催している。そのほか、要支援の認定を受けた高齢者を対象に、スマホで脳トレを行う通いの場を運営し、女性のボランティア講師も活躍している。また、小中学生を対象とした「ひたちパソコン探検少年団」の活動を支援しており、幅広い年齢層を対象に、地域に根ざした活動を展開し、地域福祉の推進に貢献している。
5	群馬県 太田市	ゆうゆうかい(れいへいしかそうぎょうれつ) 遊友会(例幣使仮装行列)	遊友会は、午前中ハンドメイドクラブなどの区民会館行事、午後はグラウンドゴルフ、その前後には地元小学生の登下校を見守る「安全見守りたい」など、1日に何度も顔を合わせられる活動をしている。遊友会の活動の1つとして、8年前より例幣使仮装行列を地域の活性化を図るため実施している。仮装行列は「地元住民に町の歴史を知ってもらい、隣近所のお付き合いが昔のようにできる町にすること」を目的としている。地元小学校の授業の一環として、児童が行列の準備を老人会メンバーと行うことが、老人間の交流だけでなく、多世代間の交流及び高齢者の生きがいづくりに大きく貢献している。
6	埼玉県 さいたま市	ささえ愛プラザ	自治会と連携し、自宅で日常生活を送っている高齢者の見守りを兼ねた活動を行っている団体である。 活動開始から10年以上が経過し、草むしりや日常生活補助等の依頼対応を継続的に行っているほか、地震対策である家具転倒防止器具の取り付けや、フレイル予防に関する活動を自治会回覧で周知することにより、地域社会における支え合いの輪の拡大にも努めている。また、まちの美化活動の一環として公園の水やりや雑草取りも行っており、今後も活動メンバーを増加させ、「自助・互助の精神」で活動の幅を広げることを目指している。 当該団体は、どのような活動が可能であるか自治会経由の回覧等で要望を集めながら年間100件以上の活動を行っており、地域福祉の増進に貢献している。
7	埼玉県 新座市	けいわん きたいち きずな の K1: 北一の絆・楽しく、ささえ会	生活支援体制整備事業の新座市北部第一圏域第2層協議体を中心としたグループで、以下の活動を行い、地域福祉の推進に貢献している。 ・折り紙隊(高齢者が地域のこどものために、自身も楽しみながら、時節の折り紙や紙で折ったゴミ箱を保育園や放課後児童保育室へ寄贈し、交流を深める活動) ・世代間交流(保育園や子育て支援センターで昔遊びの披露や、保育園で祖父母向けの地域住民によるコンサートの開催、保育園へのサポート活動等) ・NPO法人との協働(一人親向けのフードパントリーの開催における人員協力、保護者のリフレッシュとこどもの自主性を尊重した居場所づくり) ・地域共生社会の拠点づくり(地域内のドラッグストアのフリースペースを利用し、地域住民・情報・資源の集まる居場所づくりを行う)
8	千葉県 船橋市	たかねだい 高根台よろこびの会	まだ介護制度がなかった平成8年から、向こう三軒両隣精神で、高齢者や障害者世帯はもちろん、地域住民なら誰でも利用できる制度を作り、掃除、洗濯、草取り、水やり、買い物、見守り、犬の散歩など、住民のちょっとした困りごとに対応するとともに、昼間に独居している方向けのお食事会、地域の方向けのサロンを長年継続し、住民同志の交流や支え合い活動に寄与している。 会を継続するために、ボランティア自身も講習会に参加するなど、見識を深め続け、また、継続するためにボランティア同士でよく話し合い、楽しく、無理なく、をモットーとして活動しており、地域福祉の推進、地域コミュニティの活性化に多大な貢献をしている。

通し番号	活動地域	(ふりがな) グループ等の名称	活動内容
9	東京都 あきる野市	あきる野市 市民解説員	市民解説員は、地域における生涯学習の推進を図るために活動する、あきる野市教育委員会から認定された学習ボランティアである。“ふるさとあきる野”を愛し、わがまちの自然・歴史・文化の再発見に努めている。学んだことを地域社会に生かす知の循環型社会の実践活動を展開している。年間を通じて、市民解説員が案内する「市内探訪」約8コース、五日市郷土館等の社会教育施設での解説活動、市内外の学校等からの依頼による派遣解説など年間およそ100回程度を行っている。また、個々に研究テーマを設け、年間を通じて研鑽に励み、その成果を「市民解説員発表会」で発表している。令和5年度は、68人が登録し活動している。このように、26年間にわたり継続して、学んだ知識や技能を生かして社会貢献活動を行っているグループである。
10	神奈川県 横浜市	NPO法人霧が丘ふらっとほーむ	「談話会」「会食会」「配食サービス」などを計画実践しているほか、老人会でも、友愛サロン、シニアヨガ、コーラス、毎朝のラジオ体操、健康体操などを計画。休耕田を借り野菜づくりをして、人と出会える場を工夫し、引きこもり予防に工夫をしている。 また、コミュニティーカフェ「ふらっとkiricafe」も運営し、様々な活動を行っている。 さらには、令和5年4月より横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)として「ふらっとルーム」をスタートし、毎月金曜日に認知予防・介護予防プログラムに取り組んでいる。
11	神奈川県 横須賀市	グリーンハイツ「ゆいの広場」	横須賀市長沢地域や津久井地域に跨る集合住宅群グリーンハイツで活動する住民有志の団体で、生活支援活動に加え、認知症カフェやコミュニティーカフェも運営している。コロナ禍では、他団体が活動を休止するなか、どのように活動するかを考え、オンラインツールや感染症対策を取り入れて活動を続けた。神奈川県立保健福祉大学との連携をはじめ、さまざまな方や団体ともつながり、多世代交流にも取り組むとともに、認知症の本人や家族の支援にも積極的に取り組んでいる。
12	神奈川県 高座郡寒川町 他	小谷パーククラブ	小谷パーククラブは、趣味嗜好が同じ仲間が楽しく集える11の多種多様なサークル活動を積極的に実施している。令和5年度には新規のサークル活動「健康吹矢サークル」の発足など、時代に対応した活動を活発に展開している。特に、医療施設や買い物、庭園植栽等、様々な目的で活動したくても自身の活動には身体的な制約がある人のため、その制約を仲間が互助活動として支援する「お助けマンサークル」は、令和2年度から開始し、高齢化の進展に特化した活動である。活動地域は町内だけではなく藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市全域、海老名市・伊勢原市の一部施設を対象として広域で活動している。 町民だけではなく、他市も含めて多くの高齢者へ支援活動を実施しており、福祉活動の推進に大きく貢献している。
13	石川県 金沢市	米丸米寿会連合会	令和6年で設立60年を迎えた会であり、子どもたちの見守りや、小学生とのグランドゴルフ大会、「むかしあそび」を語る会を通じた世代間交流に取り組んでいる。また、健康保持及び多様化する社会のなかで明るく生きていく人間形成を図ることを目的とした教養講座を実施し、地域高齢者に学びの場を提供し、地域活動の継続、伝承を行っている。地域全体の高齢者を支える中核として、重要な役割を担う活動を長年続けており、住みよい地域づくりに貢献している。
14	石川県 羽咋郡志賀町	熊野地区老人クラブ	設立当初から友愛活動に力を入れて取り組んでいる。地域高齢者へのアンケート調査を行うことで、支援の有無など現状把握を行い、その情報を共有できるよう「高齢者マップ」の作成や連絡会を実施している。また、友愛活動のなかで対象者の異変に気づいた際は、地域包括支援センター等に連絡・相談することで支援へつなぐ役割も果たしている。 精力的な活動により会員増強にもつながり、住民同士が助け合い、支え合う地域づくりに貢献している。
15	福井県 福井市	福井童謡の会	平成7年3月に、福井市中央公民館の「生涯学習カレッジ 童謡コース」の受講生が中心となって創設した。コンサートや各種行事への参加、施設への慰問等の多岐にわたる活動を継続して行い、今年30周年を迎えた。男性コーラスグループ、子ども合唱団等と合同コンサートを開催するなど多世代間交流にも注力し、地域の高齢者の居場所づくりや生きがいづくりに大きく貢献している。
16	福井県 大飯郡高浜町	高浜町おやジィーの会	平成25年5月に、高浜町内のリタイア世代の男性ボランティアで結成した。支えあいの地域社会を目指し、地域の高齢者宅等へ週1～2回給食弁当を配達し、地域福祉の推進に貢献している。また、月1回の定例会での研修やスマホサロン、隔月開催の健康サロンやおでかけ見学会など、多彩な活動を積極的に行い、地域の高齢者の居場所づくりや生きがいづくりに貢献している。
17	静岡県 磐田市	磐田観光ボランティア「ふれあいガイドの会」	磐田市で開催された「コミュニティーカレッジ」の観光ボランティア講座修了者により結成されたグループで、観光ガイド等の観光資源を有効活用したまちづくりを中心とした活動を続けている。活動は25年を超える長きにわたり、年5回の文化財を巡るガイドウォークを開催したり、休日見付いこい茶屋を訪れた方に磐田の歴史を伝えたりする等の実績を積み重ね、市内外へ磐田の歴史・文化の普及促進に貢献している。
18	愛知県 豊田市	陣寿会	陣寿会では、世代間交流の活動に力を入れ、季節にまつわる催しをとおして、子ども達に文化の継承と、次世代への地域の担い手育成を行っている。 活動はクラブ内だけでなく、子ども会や自治区といった他団体とも連携した行事を開催している。地域全体を巻き込んだ活動は、高齢者の生きがいづくりだけでなく、住民同士の関係性づくりや、地域全体での子育て・見守り活動にもつながっており、地域力の向上に寄与している。

通し番号	活動地域	(ふりがな) グループ等の名称	活動内容
19	奈良県 生駒市	いこまし 生駒市アマチュア無線非常通信協 力会	災害に強いアマチュア無線の特性を生かし、市の災害対応に協力しようとの趣旨から令和2年に設立された。以降毎年、大規模災害時を想定した市との連携訓練を実施して、活動要領の改善・習熟を図っている他、各種イベントへの出展等も行い、活動の拡大を図っている。アマチュア無線は自宅に居ながら多くの相手と交流を持つことができ、特に高齢者にとって、社会との繋がりを維持できるかけがえのないツールとなっているが、これに加えて同会は、高齢の会員でも地域社会で活躍できる機会を創出し、新たな「生きがい」を生み出している。また、全国的にアマチュア無線愛好家は高齢化が進んでいるが、同会は「災害対応」を掲げることで、若い世代にもアマチュア無線を広めて会員に加えており、高齢者が世代を超えて交流・活動できる場ともなっている。
20	和歌山県 和歌山市	いきいきシニアわかやま	和歌山県社会福祉協議会がサラリーマンOB生きがい活動支援事業にて募集した「エンジョイスト養成講座」受講生が講座終了後に「いきいきシニアわかやま」を立ち上げ、平成20年4月に活動開始した。運営資金確保のため会員制(1000円/年)でスタート、年々会員も増加し令和5年度には484人になった。活動内容は、パソコン教室、リズム体操、バスツアー、ハイキング、歴史散策など運営委員が知恵を出して企画した事業を展開。発足当初の運営委員は8名だったが、令和5年度では22名(うち女性8名)。現在は、運営委員3名がチームとなり、企画から準備、当日の運営、終了後の結果報告、会計報告を行っている。高齢者の方々が各種イベントに参加することにより会員相互の人間関係と生きがいを得ることを目的に活動を続けている。
21	島根県 江津市	たにしゅうごう 谷住郷100年マルシェ	コロナ禍をきっかけに「ふるさとを元気にしたい。」と地域の人に声をかけてまわり、有志によって始まったマルシェ。高齢化率48.5%の地域で、出店するのは約半数が高齢者だが、自分たちで準備をし、自分たちで片づけるというスタイルを続けている。毎月第1・第3日曜日に出店し、地域内外の人との交流や、出店者同士の交流により人の輪が広がっている。 活動はマルシェにとどまらず、音楽イベントを企画したり、地区外で開催したりと、型にとられないことなく、意欲的に取り組んでいるグループである。 高齢化の進む地域において、高齢者の生きがいづくりや人との交流の場となり、地域全体に元気を与えている。
22	岡山県 勝田郡奈義町	ちよいワルじいさん さくせんかいぎ 作戦会議	高齢の男性は女性に比べて、介護や支援を要する状態になったとき、デイサービスなどの介護・予防サービスの利用を好まず閉じこもりがちになる方が多いと言われている中、当グループは、こういった高齢男性特有の課題解決に向けて、自分事として取り組んでいる。 毎月1回、「ちよいワルじいさん作戦会議」を開催し、日帰りミニ旅行の「ちよいワルな旅」や昔を懐かしく語り合う「ちよいワルな同窓会」などを企画・運営することに加え、隔月開催の「ちよいワルGG道場」でのちよいワル体操の考案や奈義町の気になること・場所について掘り下げて調査研究をする等のユニークで活発な活動を行うことで、男性高齢者の「通いの場」となるなど、参加者の生きがいづくりや社会参加活動の促進につながっており、地域福祉の推進に貢献している。
23	広島県 安芸郡熊野町	くまのちよう 熊野町シルバーリハビリ たいそうしどうしか 士会	町が開催したシルバーリハビリ体操指導士養成講習会を受講し、シルバーリハビリ体操指導士として認定された住民により結成されたボランティア団体。フレイル予防等、生活習慣病予防や介護予防の重要性についての普及啓発も行っている。平成30年西日本豪雨災害の際には、避難所で体操教室を開催し、避難者の体力維持にも貢献した。活動は体操指導だけにとどまらず多岐に渡り、町や関係機関と連携した地域づくりに取り組んでいる。
24	山口県 山陽小野田市	りゅうなんかい 竜南会	昭和41年に発足し、長きにわたり環境美化等の地域活動を続けている。町内にある「塚の川古墳公園」の除草作業を毎月1回のペースで実施している。また、神社境内の除草作業を年2回のペースで実施しており、町内の道路、法面、水路の水草刈りも随時行っている。その他地域の見守り活動も展開しており、小学校通学路の見守りは毎日活動している。地域と未来のために活動していることを会員で共有しており、仲間と一緒に活動して連帯感を持っているだけでなく、積極的に様々な地域貢献活動を長年にわたり展開してきたことで、行政や地域住民からも評価・信頼されている。
25	長崎県 平戸市	なかのちくろうじん 中野地区老人クラブ れんごうかい 連合会	地域の5つの老人クラブから結成された当団体は、世代間交流として、地域の子どもたちと米づくり・芋づくり体験、グラウンドゴルフ大会などを行っている。また、しめ縄づくりや門松づくりなども行っており、それらの活動は伝統文化の継承にも繋がっている。20年を超える長きにわたり続けられてきた当団体の活動は、世代間の相互理解を深め、子どもたちの教育力の向上を図るとともに、高齢者の健康増進・生きがいづくりにも寄与しており、地域全体の活性化に大きく貢献している。
26	熊本県 菊池郡大津町	まきげんきじゅく 真木元気塾	地域の民生委員・地域福祉推進員(元民生委員・元地域福祉推進員等も含む。)・退職された看護師・介護士といった専門職等がスタッフとなり、「いきいき百歳体操」を中心に物づくり等趣向を凝らした取組を行いながら、専門職による健康相談等も実施し、必要に応じ町地域包括支援センター等につないだり見守り等を行ったりしている。 また、新型コロナウイルス感染症感染拡大時には、地域の高齢者等の予防接種をオンラインにより代行予約するなど「地域の拠点」「福祉の拠点」として中心的役割を担っており、地域にはなくてはならない存在である。
27	宮崎県 宮崎市	しんわ もり 神話の杜みやざき	神話の杜みやざきは、オペラ歌手やピアノ教師、篠笛奏者、演劇関係者など多岐にわたる構成員により、子どもから大人まで関心・興味を持ってもらえるよう、演劇や音楽劇、紙芝居等により神話の普及活動を行っている。 定期的な活動を宮崎市檉地区交流センターで行っているほか、要請に応じて小中学校や高校、看護大学、図書館、公民館、介護施設、県主催のイベント等で幅広く活動している。 会員の半数が高齢者であるため、県民への神話普及活動が自身の生きがいづくりにも繋がっている。

通し番号	活動地域	(ふりがな) グループ等の名称	活動内容
28	鹿児島県 奄美市	くさとちょうろうじん 久里町老人クラブ さいしゅんかい 再春会	<p>久里町は、477世帯、人口685人、高齢化率38.5%の地域で、古くから住み慣れた住民が多く、住民同士の連携やつながりがあり、協力関係の良い地域である。</p> <p>久里町老人クラブは、奄美市市街地の自治会組織のなかった久里町で、児童の見守り、地域の美化活動、独居高齢者や障害者の安否確認、防災活動など、自治会組織結成の先駆けとなる活動を実践している。</p> <p>自治会結成後も、この久里町老人クラブが、地域を引っ張るエンジンとなって、こどもから高齢者まで、地域に根差した支え合い活動に取り組んできており、地域福祉の推進に貢献している。</p>
29	沖縄県 中頭郡中城村	なかぐすくそんろうじん 中城村老人クラブ れんごうかい 連合会	<p>平成27年度より、市内3小学校と授業を活用して毎年世代間交流事業を実施している。昔遊びや沖縄民謡に合わせて踊りを踊ったり、高学年のスポーツテストの手伝いをしたりするなど幅広く活動を続けている。また、新たに1年生との昔遊びの交流要望も出てきた。学校からは、老人クラブの力を借りて授業を進めていくことは、地域とのつながりを大切に伝えていくことが出来るツールとして老人クラブに求められており、地域貢献、健康増進につながっている。</p>